

# 刑 法

(問 題)

2016 年度

## 注 意 事 項

1. 問題冊子、解答用紙および貸与六法は、試験開始の指示があるまで開かないでください。
2. 問題は2～3頁に記載されています。問題冊子の印刷不鮮明、頁の落丁・乱丁および汚れ等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせてください。
3. 下書用紙は一人につき一枚のみ配付します。
4. ラインマーカー、色鉛筆、修正液等は、問題冊子・下書用紙に使用することを許可しますが、解答用紙に使用した場合は、不正行為とみなすことがあります。
5. 貸与六法への書き込みは、不正行為とみなすことがあります。
6. 試験開始の指示の後、解答用紙表紙の所定欄に、受験番号、氏名、問題番号を記入してください。受験番号は正確に間違いに記入してください。読みにくい数字は採点処理に支障をきたすことがあるので、注意してください。
7. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答を止め、筆記用具を置いてください。終了の指示に従わず筆記用具を持っていたり解答を続けた場合は、不正行為とみなすことがあります。
8. 試験終了後、問題冊子、下書用紙は持ち帰ってください。
9. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出してください。
10. 解答用紙に記載の注意事項もあわせて確認してください。

問題1 (60点)

甲は、乙から、「借金の返済に困っているので、法に触れることでもよいから金を稼ぐための知恵を貸してほしい。」と相談を受けた。そこで甲は、乙を、ピッキングの名手である丙に引き合わせ、乙、丙で窃盗をするよう助言した。また甲は、乙から、窃盗に入りやすい家はあるかと尋ねられたので、「Aの家が週末留守にしていることが多いから、特に狙い目だろう。」などと言った。なお甲は、乙、丙から謝礼や分け前をもらう約束はしていない。その週の土曜日の深夜、乙と丙は、窃盗に入る目的でAの家へ赴き、Aの家の鍵を開けて侵入したが、居間に立ち入り、金目のものが入っているたんすに近づいたところで、隣の寝室から物音がしたので、見つかることをおそれ、続行を断念してAの家から逃げ出した。

乙は、窃盗をあきらめて帰ろうとしたが、丙は、「ここまできたら、何か収穫がなければ帰れない。」と言って、隣のBの家へ侵入して財物を窃取することを主張した。乙は、しぶしぶそれに同意し、丙がBの家へ侵入している間、丙に指示された通り、外で見張りをつとめた。丙は、Bの家へ侵入し、Bの書斎の机の引き出しに入れてあった財布を見つけたが、それを手に取って自分の服のポケットに入れたところでBに見つかり、Bから「泥棒。」と言って迫られた。丙は、Bを何とか振りきって逃げようと考え、Bの書斎にあったゴルフクラブを手に取って振り上げ、Bに「どかないと殺すぞ。」と言った。それでもなおBが書斎の出口に立ちふさがったので、丙は、Bの左足をゴルフクラブで数回殴りつけ、Bがひるんだすきにゴルフクラブをそこに投げ捨てて書斎から逃げ出し、屋外に出て、乙と一緒に逃走した。Bは、丙に殴りつけられたことによって左足に打撲傷を負った。

甲、乙、丙の罪責を論じなさい。(特別法違反の罪は除く。)

問題2の解答は『解答用紙(D)』を使用してください

問題2 (30点)

刑法109条2項及び110条の放火罪における「公共の危険」と、その認識について、各々事例を挙げながら論じなさい。

〔以下余白〕